

目次

- 新コース Citrix XenApp 6.5 Administration予約受付中
ITプレナーズ社開催コース「ITILv3 エキスパート」取扱い開始
- キャンペーン CCENT、CCNA、CCNP対象コース受講で、1コース無料受講！
- トピック Inst. Tech View ～第9回 “googleハッキング”～
- コラム スーパーエンジニアの独り言 第7回 “雲を繋ぐ Vyatta”

新 | コ | ー | ス |

◆◇ Citrix XenApp 6.5 Administration予約受付中 ◇◆

Citrix社認定コースであるXenApp 6.0コースがバージョンアップして、Newリリースされます。
 仮想化プロダクトとして、人気が高まりつつあるXenコースの受講を是非ともご検討ください。 ※コース開催は4月以降となります。

X008 : Citrix XenApp 6.5 Administration

期間：5日間

価格：¥353,220（税込み）

詳細：<http://www.school.ctc-g.co.jp/citrix/X008.html>

◆◇ ITプレナーズ社 開催コース「ITILv3 エキスパート」取扱い開始！ ◇◆

最上位資格であるITILv3 エキスパート資格を取得できるITプレナーズ社開催コースの提供を開始致しました！

このプログラムは、革新的な最新の学習技術と活気にあふれたクラスルーム型セッションを融合した、最新の集中プログラムであり、楽しみながらも着実に学習することができます。
 ぜひこの機会をお見逃しなく、ITILv3 エキスパートコースをキャリアアップにお役立てください。

詳細：<http://www.school.ctc-g.co.jp/itil/itil.html>

キ | ャ | ン | ペ | ー | ン |

◆◇ CCENT、CCNA、CCNP対象コース受講でもれなく1コース無料受講！ ◇◆

期間限定 無料受講キャンペーン実施中！

好評につき、キャンペーン対象コースをCCNA対応コースにも拡大しました。

対象のコースを受講いただくと、以下のコースが期間限定で無料受講できます。

1. 仮想化概要
2. 仮想ルータ・仮想ファイアウォールファーストステップ
3. クラウドコンピューティング概要
4. IPv6インフラ構築入門
5. VoIP 基礎 (Voice over IP)

2012年3月末日までの期間限定で、キャンペーン対象のトレーニングをお申込みの方は、上記のコースが1つ無料で受講できます。

無料コースは申込者本人でなくとも受講できますので、同僚、上司etc. ご興味のある方にお声がけのうえ、この機会に是非ご利用ください。

キャンペーン対象トレーニング : Cisco CCENT/CCNA/CCNPコース
詳しくはこちら http://www.school.ctc-g.co.jp/campaign/cnnp_c.html

キャンペーンについての問い合わせ
C T Cテクノロジー・ラーニングセンター事務局
TEL : 0120-667230
FAX : 0120-667235
E-mail : kyouiku@ctc-g.co.jp

ト | ピ | ッ | ク |

◆◇ 『 Inst. Tech View ~第9回 “googleハッキング” ~』 ◇◆

今回のInst. Tech Viewは、「googleハッキング」についての話題です。

「googleハッキング」という言葉をご存知でしょうか？
「googleハッキング」とは、インターネット上のコンピュータを攻撃しようとする人間がgoogleで検索を行い、攻撃に役立つ情報を収集する作業のことです。
「googleハッキング」という言葉を初めて耳にした方は、googleでの検索でそれほど有益な情報を得ることはできないだろうと思われるかもしれませんが、ですが、アメリカの高名なクラッカーが一番好きな攻撃手法に挙げるほどで、ご自身のコンピュータや管理者として組織内のコンピュータを守るためには「googleハッキング」という攻撃手法を正確に理解し、正しいセキュリティ設定を行う必要があります。

「googleハッキング」で攻撃に役立つ情報を収集する際、単純にgoogleで検索ワードを入力しても攻撃に役立つ情報を効率よく得ることはできません。そこで「googleハッキング」では、検索ワードに「検索演算子」を使用します。

「検索演算子」とは、検索範囲を制限するための文字列です。
例えば検索演算子「site:」を使用すると、検索対象のドメインを制限することができます。指定形式は「site:ドメイン名」で、例えば「site:ctc-g.co.jp」と検索ワードに入力すると、検索範囲を「www.ctc-g.co.jp」などWebサーバ名の末尾にctc-g.co.jpが付けられているものに絞ることができます。

検索演算子を用いた情報収集の例を以下に示します。

●Webサーバのフォルダの階層構造を閲覧する方法
googleで検索ワードに「intitle:index.of」を指定します
(「.」は任意の一文字を表します)。

「intitle:」は、検索対象をHTMLタイトル(ブラウザでWebページを閲覧した際に、ウインドウの最上位のバーに表示される文字列)のみにすることができる検索演算子です。
Webサーバのフォルダの階層構造を閲覧できるページには、一般的に「index.of」というHTMLタイトルが記述されているため、この手法で検索することができます。

また、検索演算子は同時に複数使用することができるので、例えば検索ワードに「intitle:index.of site:ctc-g.co.jp」と指定すると、弊社のWebサーバにあるフォルダ階層構造を表示するページを検索することができます。

攻撃者はWebサーバのフォルダ階層構造が表示されるページにアクセスした後、本来公開していないファイルを閲覧し攻撃に役立つ情報を探します。
そのため、Webサーバの管理者はこのページを表示しないように設定しておく必要があります。

●特定のバージョンのWebサーバソフトウェアを使用しているWebサーバを探す方法
googleで検索ワードに「intitle:index.of ソフトウェア名/バージョン名」を指定します。

例えば、WebサーバソフトウェアにApacheのバージョン2.0.63を使用しているものを探したい場合は、検索ワードに「intitle:index.of Apache/2.0.63」と入力します。
Webサーバのフォルダ階層構造を閲覧できるページには、そのWebサーバが使用しているソフトウェア名/バージョン名が表示される場合があるため、この手法
ページ(2)

で検索することができます。

インターネットには特定バージョンのソフトウェアのセキュリティホールを悪用するプログラム(Exploit: エクスプロイト)が公開されているため、Webサーバの管理者は「ソフトウェア名/バージョン名の非表示」や「セキュリティホールの解消」といった対策を行う必要があります。

今回の紹介は以上とさせていただきます。コンピュータに対して適切なセキュリティ設定を行うには、「googleハッキング」をはじめ実際の攻撃手法をしっかりと理解し、それを防ぐためにはどのような設定を行ったらいいかということをしつかりと意識しなければなりません。様々な攻撃手法やその防御方法については、弊社開催コースの「セキュリティファーストステップ」や「Linux OSセキュリティ」で紹介しております。皆様のご受講を心よりお待ちしております。

コースの詳細情報はこちら：

<http://www.school.ctc-g.co.jp/index.html>

コ | ラ | ム |

◆◇ 『スーパーエンジニアの独り言 第7回 “雲を繋ぐ Vyatta”』 ◇◆

今回の話題は、仮想化環境上で稼動し多様なネットワーク機能を提供するバーチャルアプライアンスのソフトウェアルータ “Vyatta” を紹介します。

サーバ仮想化が普及している現在では、仮想化されたインスタンスがユーザ要求の変化に対して即時に呼応する事が可能です。このため縦横無尽に配置される個々のインスタンスが利用するネットワークを構成するには、柔軟な対応がシステム管理者に必要とされるのが極めて困難な点でしょう。

その懸念を払拭する有効な手段として、機器自体を仮想化上で構成するバーチャルアプライアンス（仮想アプライアンス）が考えられます。仮想アプライアンスとは、各種ハイパーバイザ上で実行可能な仮想マシンイメージであり、つまりOSを含んだ「ソフトウェア」です。仮想アプライアンスでは、サーバ仮想化による恩恵そのままに、設置場所や物理的なハードウェアからの制約を緩和することが可能であり、既存製品と比較した場合には、優れた柔軟性と拡張性を有していることが理解できます。サーバ仮想化を駆使したシステム構成への親和性も明白です。

Vyatta（「ヴィアッタ」と読みます）は、この仮想アプライアンスの範疇であり、機能としてはルータ／ファイアウォールを中核としたネットワークに於ける様々な能力を有している（複数のオープンソースをベースとした）ソフトウェアです。これはVyatta社が提供している製品なのですが、提供形態として商用版とオープンソースの2種類があり、大きな相違点はサポートの有無です。非商用版でも十分な基本機能があり、ユーザが使い方をさえ理解できれば直ぐにでも使用開始を出来るのが大きな魅力です（Vyatta社では、Vyattaを搭載したハードウェアアプライアンスも別途販売している様です）。複数のオープンソースをベースとして構成するが故に、ルーティング、ファイアウォール、NAT、IPS、URLフィルタリング、VPN、負荷分散など多様な機能を最新状態で包含しています。また配布形態がLinuxベースのディストリビューションなのですが、管理インターフェースを独自実装しているので、扱い易く設計されているのも利点の一つとなっています。

稼動環境はVMware、XenServerなど各種ハイパーバイザなどに加えて、AWS (Amazon Web Services) で稼動するVyatta AMI (Amazon Machine Image) の提供がアナウンスされています。これを称してVyatta Network OS for Amazon Cloudと命名しています。この主たる利用目的の一つとしてAmazon VPC (Virtual Private Cloud) でVyattaを遠隔地からの接続への中継地点として稼動させることが可能であり、AWSとプライベートクラウドサービスとの連携が実現する事でしょう。

クラウドと言えば、最近のニュースで話題となった「さくらクラウド」は、北海道の石狩データセンターを設立してパブリッククラウドサービスをリリースしたのが記憶に新しいですが、このサービスで利用できるのは、

Xenのハイパーバイザ上で動作するレディメイドのインスタンスとしてLinuxディストリビューション(CentOS、Scientific Linux、Ubuntu)とFreeBSDがあり、そこにはルータとしてVyattaが用意されているのです。主催しているさくらインターネットでは、Vyattaを用いたIPv6接続など「VYATTAでつなぐインターネットクラウド接続」と題した試みが実施されて、インターネットを経由しランチをまたいだ接続が試行されています。

この様に日本に於いてもサービスの採用実績、日本Vyattaユーザ会の設立、更に関連書籍も発売されており、密かに盛り上がりを見せています。

しかしながら、正確な理解の妨げになっていると思われるのが、Vyattaの機能である「仮想ルータ」という表現にあります。「仮想ルータ」という機能は以前からあり、「一台のルータを論理的に分割し複数のルータとする」といった「仮想ルーティング機能」を実装している機器という意味でありました。ですが、Vyattaの実態はソフトウェアであり、また仮想化に対応したバーチャルアプライアンスです。ですから、最近よく目にする「クラウド時代の仮想ルータ」という表現の方が適切なのでしょうか。

今後、仮想アプライアンス、ネットワークOS、オンデマンドソリューション、インターネットクラウド、オープンソースなど、様々な切り口のキーワードでVyattaが取りあげられることと思いますが、企業にとっては寧ろ実行性と即戦力のプロダクトとして一層普及に拍車がかかることと予想されます。

これらを見越して、Vyattaに関する弊社オリジナル新コースを開催します。Vyattaを詳しく知りたい方は、このコースを立ち上げました体育会系イケメンの弊社講師に是非とも逢いに来て下さることを筆者からも強くお願い申し上げます、年初の挨拶に代えさせていただきます。

本年も変わらぬご愛顧をいただけますよう、宜しくお願い申し上げます。

関連コースの詳細情報はこちら：

VY01: 仮想ルータ・仮想ファイアウォールファーストステップ
～Vyattaで学ぶ仮想ルータ・仮想ファイアウォール入門～

期間：1日間

価格：¥52,500（税込み）

開催予定日：2012/01/30(月)、2012/02/13(月)、2012/02/27(月)

詳細：<http://www.school.ctc-g.co.jp/cldvir/VY01.html>

カテゴリ別研修コース

<http://www.school.ctc-g.co.jp/category/index.html>

「クラウド・仮想化 基礎／入門」関連コース

<http://www.school.ctc-g.co.jp/cldvir/>

■お問合せ・ご意見・ご感想は◆CTC教育サービス◆窓口まで
シーティーシー・テクノロジー株式会社 エデュケーションサービス部
E-Mail：kyouiku@ctc-g.co.jp / TEL：03-5712-8701

●外部委託について

弊社はメールニュース配信業務をシーティーシー・ビジネスサービス株式会社（CTC100%出資子会社）に委託しております。

●本メールマガジン編集・配信責任者

CTC エデュケーションサービス部 部長 篠原 義一

所在地：東京都世田谷区駒沢1-16-7 ctc_edu_mail@ctc-g.co.jp

●個人情報保護方針

CTCグループの個人情報保護方針につきましては下記URLをご参照ください。

http://www.ctc-g.co.jp/guide/security_policy.html?top=b_security

●配信中止及びお問合せ対応について

・「CTC教育サービス News&Topics」の配信が不要な場合には、下記URLから配信停止のお手続きを行ってください。

<https://krs.bz/ctc-g/m/ctc-education>

・当社では、複数種類のメールマガジンやメールニュースを発行しております。

ctc201201

大変お手数ではございますが、CTC教育サービス以外からのメール配信についての受信拒否および個人情報に関するご要求は、各メールに記載の個々の連絡先宛にそれぞれご連絡をお願いします。

- ・受信者ご本人様からの個人情報の開示・訂正・削除に関するご要求は、随時 ctc_edu_mail@ctc-g.co.jpにてお受けいたします。
